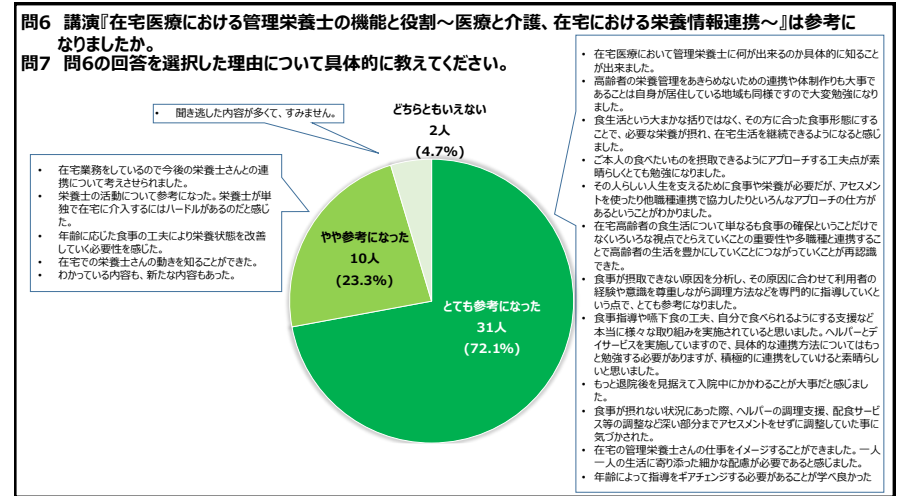
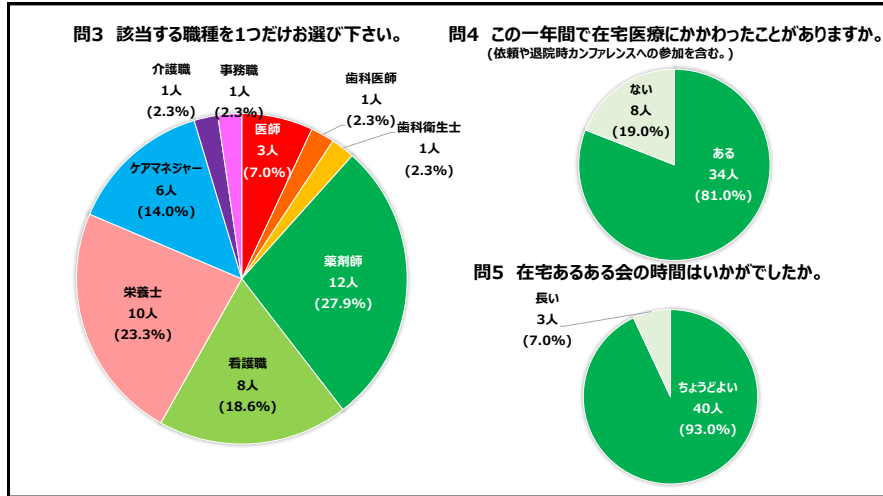
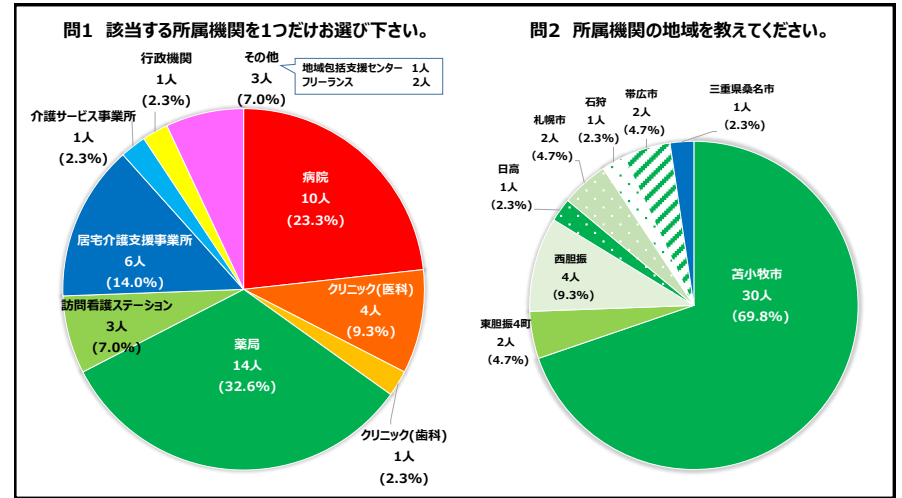


令和6年11月12日(火) 開催

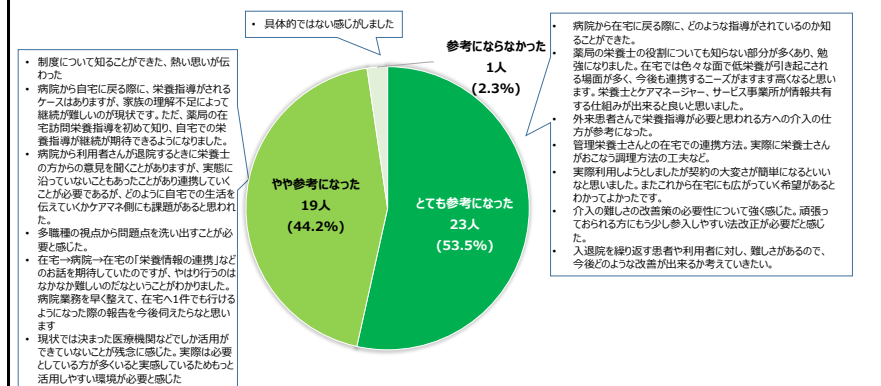
第10回 在宅あるある会 アンケート結果

参加者 73人
回答者 43人
回答率 58.9%

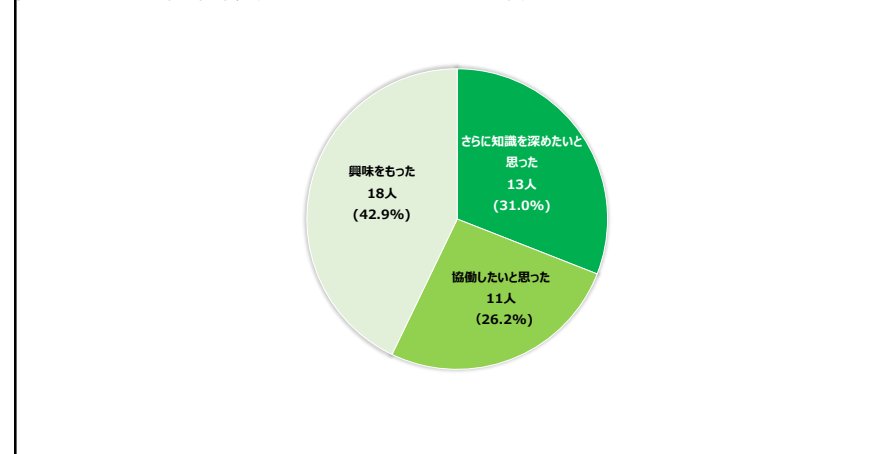


問8 実践報告『病院から在宅へなく栄養食事指導の現状』『在宅訪問栄養指導の現状と課題』は参考になりましたか。

問9 問8の回答を選択した理由について、具体的に教えてください。



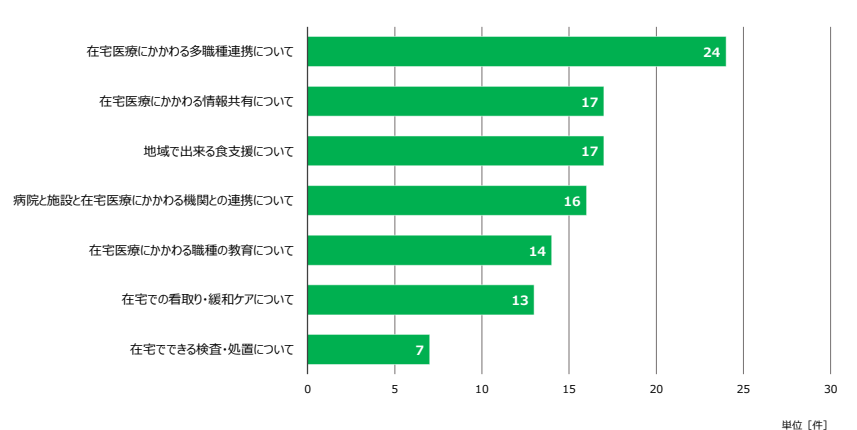
問10 今回の在宅あるある会に参加し、在宅医療における管理栄養士との協働についてどう思われましたか。



問11 今後、在宅医療における管理栄養士にかかわってほしい(かかわりたい)ことを教えてください。

- ・ 在宅患者さんの栄養指導、経腸栄養の種類などの相談
- ・ 嚥下機能や口腔機能が低下している方に対する食事のありかたについて
- ・ 在宅で食欲がなく低栄養の方に対する栄養指導、褥瘡予防、誤嚥に対する食事形態の指導など
- ・ 誤嚥性肺炎の方の食事
- ・ 独居の方の栄養指導
- ・ 一人暮らしの高齢者は食事を作るのが面倒で惣菜を買ってきたりインスタント物で済ませている方も多く食欲もないと良くお聞きします。こういう方達に関わって頂きたいと思えます。
- ・ 検査値と栄養状態の照らし合わせ
- ・ 在宅患者の食生活の改善
- ・ 在宅患者本人ではなく、支援する家族の相談に応じてほしいと感じた。
- ・ 在宅に訪問して、直接、ご利用者様ご家族様への指導をしてほしい。
- ・ 自宅にある食材で簡単に調理できる方法や手段をヘルパー等在宅に直接外向く人への講演による指導や認知症カフェや出前講座による地域住民への講演などへの誘致
- ・ 事業所単位での、栄養指導の講義など増やしてほしいです。
- ・ オンラインと管理栄養士の関係が構築できるようにオンラインに働きかけたい。
- ・ 在宅医療ではありませんが、訪問介護では買物や食事の準備で関わることも多くありますが、1日の食事量の把握や栄養バランスなどまで深く聞かれることは事例として少ないように感じます。管理栄養士とも連携する形が今後は更に重要になっていくと思いますので、調理方法の工夫や補った方がよい栄養など具体的なアドバイスを聞いて、実践する機会を是非持ちたいと思いました。
- ・ 食に関する希望など在宅で生活されている方には多くあり病状などに合わせたその方たちの希望に少しでも寄り添い満足していただけるような食形態だったり栄養面でのアドバイスがその場でいただけるような関係性をつづけていきたい
- ・ 同じ病院内なのですが、在宅で関わっている患者さんが入院する際には、管理栄養士、病棟看護師へ「栄養情報提供書」を提供しています。が、病院から退院する際には情報はなくカルテで見えていない状態です。同じ病院なのでカルテは見れるのですが、今後、地域の病院とも連携をとって情報共有などをしていければなと思っております。また、訪問診療で介入している近隣施設へも、食事形態やとろみなど連携や教育できればな、と思ってます
- ・ 在宅医療自体かかわることがほとんどないため、やってみたい気持ちがあります。食欲や生活に対する意欲が低下している方に、調理実習などで笑顔になってもらうことはとてもやりがいがあるのではないかと思います。
- ・ 訪問栄養指導に関わりたいです
- ・ 在宅の現場に立ち会ってみたい
- ・ どのようにかかわっていいか難しいところもあるため何が求められているのを知りたい。

問12 今後、開催してほしいテーマ研修はありますか。※複数回答可

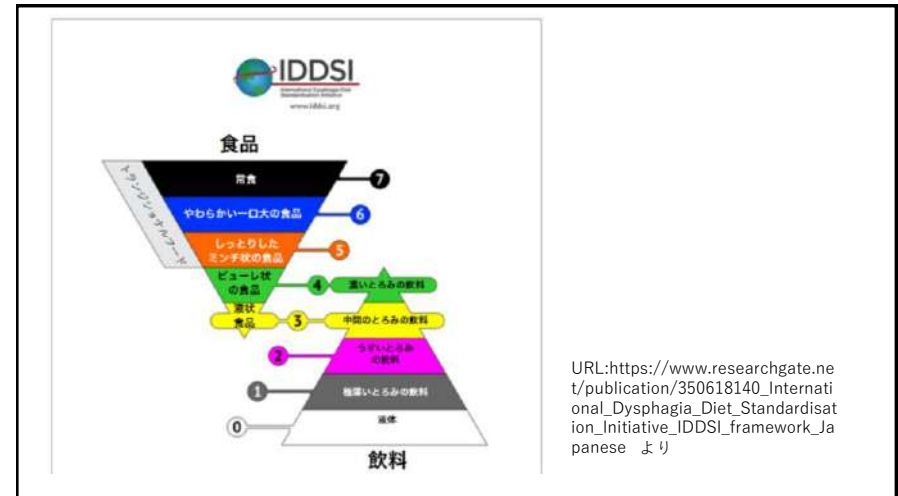


問13 今後、在宅あるある会で取り上げて欲しい内容があればご記入ください。

- IDDSI (International Dysphagia Diet Standardisation Initiative : 国際嚥下食標準化フレームワーク)
- インターネットを活用した取り組み、または今後、活用していく構想など。
- たくさんの在宅の現状を知りたいと思います。
- 災害時における医療機関との連携方法。治療が必要な患者様の対応について等
- 川畑さんの第2弾を聞きたい
- 訪問診療医の現状 (総合病院との連携等)

問14 その他、在宅あるある会についてのご意見ご質問があればご記入ください。

- 日々の業務の中で管理栄養士の方との関りが少ない為、今回の研修を通じて色々勉強させて頂きました。ありがとうございます。
- 管理栄養士として何が何かを知りたいと思いました。
- 在宅の現状を知れば知るほど難しと思った
- 終末期の看取りができる先生が増えて欲しいです
- いつも多岐に渡る内容を網羅して扱っていただき、現場で活躍している方の経験も聞けて勉強になります。ありがとうございます
- WEBで参加させていただいています。画像も良く音声も聞き取り易いです。気軽に参加でき、とても勉強になります。今後も参加させていただきたいと思います。
- この度は明日からの訪問に活用できるセミナーを企画していただきありがとうございます。運営、お疲れさまでした。
- この度は堺広市から参加させて頂きありがとうございました。大変参考になり、また刺激を受けました。感謝申し上げます。
- 他地域からの参加を受け入れて頂き誠にありがとうございます。感謝いたします。



URL:https://www.researchgate.net/publication/350618140_International_Dysphagia_Diet_Standardisation_Initiative_IDDSI_framework_Japanese より